

見えてきた、
うめきた2期。

2024
8
/
7
WED

うめきた2期区域
グラングリーン大阪

先行まちびらき記念イベント

まちづくりシンポジウム

ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター(グランフロント大阪 北館B2F)
10:00-16:30 (開場9:30) 主催/独立行政法人 都市再生機構

● 主催者挨拶・事業報告 10:00-10:30

● 基調講演 10:30-11:30/メイン会場[ホールA・B]

建築家 安藤 忠雄 「大阪を緑のまちに」

1941年大阪生まれ。独学で建築を学び、1969年安藤忠雄建築研究所設立。代表作に「光の教会」「フォートワース現代美術館」「プンタ・デラ・ドガーナ」など。79年「住吉の長屋」で日本建築学会賞、95年プリツカー賞、05年国際建築家連合(UIA)ゴールドメダル、10年文化勲章など受賞多数。97年から東京大学教授、現在名誉教授。



撮影：関野 欣次

街に、ルネッサンス



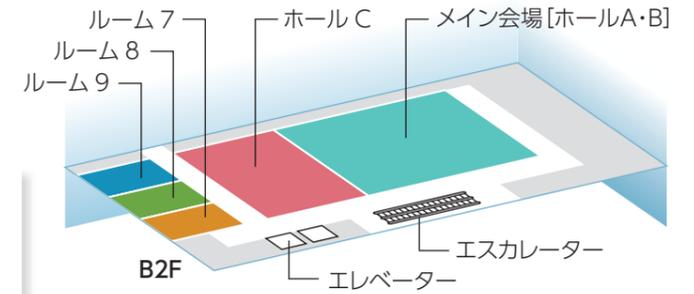
UR都市機構

シンポジウムプログラム

テーマ別プレゼンテーション 12:45-14:45

共創から生まれる「みどり」と「革新」～うめきたが拓く新時代へ～

うめきた2期区域の計画～設計～施工の各フェーズに関わった 専門家や事業関係者が、成功のポイントや舞台裏を紹介します。



ホール C [Design&Build]

設計者が語るグラングリーン大阪の建築計画について 12:45

日建設計 設計監理部門 設計部 部長 足田 誠二
1996年に神戸大学修士課程を修了し日建設計に入社。専門は建築意匠設計。入社以来オフィス、駅前再開発、専門学校、銀行など幅広い分野のプロジェクトに携わってきたが、近年はホテルとホスピタルに没頭している。宿泊と医療という全く性格の異なる分野であるが、常に最新情報に敏感になり深い専門知識を要求される点では共通であり、「人」との関わり合い「時間」の大切さを教えてくれるプロジェクトである。

三菱地所設計 関西支店 高野 勇治
1996～三菱地所入社
2001～三菱地所設計出向
2018～三菱地所設計関西支店うめきたプロジェクト室に設計主幹として着任、現在プロジェクト統括を担っている。
2018～現在 うめきた2期区域設計監理業務共同企業体にてGGO南貨貸棟設計監理業務に携わっている。

日建設計 設計グループ ディレクター 團野 浩太郎
1982年 愛知県生まれ/2005年 早稲田大学工学部建築学科卒業/2007年 早稲田大学大学院修了後、日建設計入社/現在 同社設計グループ ディレクター/賞歴:2007早稲田建築設計賞、2017日本建築学会作品選集、2017 JIA優秀建築賞/主な設計の経歴:立教大学新座教室棟、東亜道路工業本社ビル、白金の家(自邸)、MIYASHITA PARK

三菱地所設計 関西支店 岸上 和樹
2009年 明治大学理工学部建築学科卒業
2011年 明治大学大学院 修了後 三菱地所設計入社
2017年 三菱地所設計 関西支店配属
2018年 うめきた2期プロジェクト室業務
現在 うめきた2期区域設計監理業務共同企業体にてGGO南街区賃貸棟設計監理業務に携わっている。

日建設計 設計グループ アソシエイト 山本 恭史
1984年 兵庫県生まれ/2007年 和歌山大学システム工学部卒業、2009年 和歌山大学大学院システム工学研究科修了後、日建設計入社。現在 同社設計グループ アソシエイト/主な設計の経歴:鳥取県立中央病院、松山赤十字病院

うめきた公園 ランドスケープデザイン誕生秘話 13:30

日建設計 都市・社会基盤部門 ランドスケープ設計部 部長 小松 良朗
大阪府立大学大学院修了後、建設コンサルタント事務所を経て2008年日建設計入社。オフィス、教育施設、ホテル、商業施設等のランドスケープデザインや特殊緑化技術を駆使した環境建築、Biophilic designのプロジェクトに積極的に携わる。日本造園学会賞・グッドデザイン賞他、多くのプロジェクトで景観・環境関連賞を受賞。技術士・登録ランドスケープアーキテクト(RLA)、樹木医。近畿大学非常勤講師。

日建設計 設計グループ ディレクター 團野 浩太郎
1982年 愛知県生まれ/2005年 早稲田大学理工学部建築学科卒業/2007年 早稲田大学大学院修了後、日建設計入社/現在 同社設計グループ ディレクター/賞歴:2007早稲田建築設計賞、2017日本建築学会作品選集、2017 JIA優秀建築賞/主な設計の経歴:立教大学新座教室棟、東亜道路工業本社ビル、白金の家(自邸)、MIYASHITA PARK

グラングリーン大阪ができるまで 14:15

竹中工務店 umeきた2期開発事業建設工事 総合事務所所長 北東地区総括所長 栗田 佳彦
1985年竹中工務店に入社後、大阪・神戸において多くの新築工事の施工管理を担当。その後、2011年より神戸支店長、2017年より大阪本店副本店長として内勤勤務。
2021年よりグラングリーン大阪開発事業建設共同企業体総合事務所所長として工事全般のマネジメントを担う。

大林組 umeきた都市公園整備工事 事務所 副所長 奥田 和弘
1989年大林組に入社。名古屋支店、京都支店管轄の現場を経て、大阪本店建築事業部生産技術部に約17年間在席。その後、淀屋橋での連打工事現場を経て、現職に就きました。入社以来、主に、大深度掘削工事での山留めや連打ち支柱の設計、明確な遮水層が無い地盤での大規模な水替計画、大空間鉄骨のスライド工事計画、鉄道駅舎の曳家工事、鉄道近接協議と施工計画、などを経験してきました。

竹中工務店 umeきた2期開発事業 北街区賃貸棟新築工事副所長 平池 拓美
2004年竹中工務店入社後、大阪・神戸のオフィス・学校・商業施設・集合住宅・物流施設などの作業所施工管理を担当した。2020年よりうめきたプロジェクトに参画し、現在もまじらぎに向け、建物づくりに取り組んでいる。

大林組 umeきた2期共同企業体 所長 松下 幾夫
1993年入社以来、商業施設を中心に、ホテル、オフィスビル、寺社建築などの施工に携わる。うめきた地区では北ヤード1期工事であるグラフフロント南館建築の施工を担当し、2020年よりうめきた2期に着任。大深度掘削の施工を過去に多く担当し、特に軟弱地盤である梅田粘土層は今回で2回目の挑戦です。

ルーム 7 [イノベーション]

大阪大学が「うめきた」から 展開する新価値創造エコシステム 12:45

大阪大学 総長 西尾 章治郎
1975年京都大学工学部卒業。1980年京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了(工学博士)。専門分野はデータ工学。1992年大阪大学工学部教授、同大学サイバーメディアセンター長(初代)、同大学院情報科学研究科長、同理事・副学長などを歴任し、2015年8月より現職。2019年5月よりUR都市機構西日本支店うめきた2期区域開発協議会アドバイザーを務める。2011年紫綬褒章、2014年文部科学大臣賞、2016年文化功労者など受賞。

イノベーションを通じた 関西経済の活性化 13:30

一般社団法人うめきた未来イノベーション機構 理事長 中沢 則夫
神戸市出身。東京大学法学部卒業後、1986年通産省(現・経産省)に入省。4回の在外勤務(比、韓、英、米)、経済企画庁、金融庁、地方自治体への出向等を含め、幅広く経済実態を踏まえた通商政策及び産業政策の立案・実行に関わる。産業技術総合研究理事、サンフランシスコJETRO所長を歴任。退官後、大和総研特別研究員として政策分析・マクロ経済分析を担当。2022年10月よりうめきた未来イノベーション機構代表理事・理事長。

3D都市モデルがひろげる 無限の可能性 14:15

フォーラムエイト 執行役員 新田 純子
株式会社フォーラムエイト 執行役員 営業サポート管理マネージャ。2011年に入社後、同社のVR、FEM、設計関連パッケージを活用した各種システム構築提案等に従事し、現在に至る。建設・地方自治体等の業界を中心に各種ハードウェアとの連携システム構築やクラウド、XR、メタバースにおける提案を多数行っている。2019年 第8回ものづくり日本大賞 経済産業大臣賞を受賞。

ルーム 8 [みどり]

地歴を踏まえた大都市 大阪のみどりづくり 12:45

大阪府立大学 名誉教授 増田 昇
1988年農学博士の学位取得後、1997年に大阪府立大学農学部の教授になり、2015年から同大学の生命環境科学研究科の研究科長と植物工場研究センター長を兼務する。2017年3月に定年退官し、2021年4月以降、LAまちづくり研究所を主宰している。専門はランドスケープ・アーキテクチャー(緑地計画学)で、日本造園学会会長や日本都市計画学会副会長等を歴任し、大阪府や大阪市、堺市等の都市計画や景観審議会委員を務めていた。

みどりを中心としたまちづくりの 社会的効果 ～見える化に向けた第一歩～ 13:30

日本政策投資銀行 関西支店 部長 有年 和廣
1996年3月京都大学法学部卒業後、日本開発銀行(現日本政策投資銀行)入行。入行後、関西支店、南九州支店等で地域産業活性化の支援に携わった他、サステナビリティやカーボンニュートラルに関する調査業務を担う一般社団法人日本経済研究所にて常務理事を務めた。2023年6月から日本政策投資銀行関西支店部長に就任(現職)。

日本政策投資銀行 地域調査部 課長 加藤 翔
2005年3月早稲田大学法学部卒業後、日本政策投資銀行入行。入行後、関西支店においてリーマンショック後の金融危機対応、九州支店にて熊本地震復興支援に携わった他、財務部・産業調査部他にて新たなプロジェクト創出の取組に従事。現在は地域調査部において各地域の地域産業の取組支援やグリーンインフラに関する調査・国土交通省の委員等を務めている。

「みどりのものさし」による グラングリーン大阪の緑がもたらす 環境価値の可視化 14:15

日建設計 都市・社会基盤部門ランドスケープ設計部 部長 小松 良朗
大阪府立大学大学院修了後、建設コンサルタント事務所を経て2008年日建設計入社。オフィス、教育施設、ホテル、商業施設等のランドスケープデザインや特殊緑化技術を駆使した環境建築、Biophilic designのプロジェクトに積極的に携わる。日本造園学会賞・グッドデザイン賞他、多くのプロジェクトで景観・環境関連賞を受賞。技術士・登録ランドスケープアーキテクト(RLA)、樹木医。近畿大学非常勤講師。

日建設計 都市・社会基盤部門ランドスケープ設計部 小川 伸子
アメリカのジョージア州立大学でランドスケープ修士課程を修了(MLA取得)。造園会社で医療施設のヒーリングガーデンや食をテーマとした景観づくりに従事したのち、メキシコで防災関係の研究を経て、2021年に日建設計に入社。ランドスケープ設計部所属。

日建設計 都市・社会基盤部門ランドスケープ設計部 アソシエイト 平山 友子
大阪公立大学大学院修了後、ランドスケープデザイン設計事務所勤務を経て、2016年日建設計入社。以来、教育施設・オフィス・ホテル・病院・パブリックスペース等の多岐に渡るランドスケープデザインに従事。うめきた2期では都市公園の設計を担当。技術士(建設部門)、登録ランドスケープアーキテクト(RLA)。武庫川女子大学非常勤講師。

日建設計 都市・社会基盤部門 シビルグループ アソシエイト 福壽 真也
岡山大学大学院修了、1983年日建設計入社。長年、琵琶湖などの湖沼、ダム貯水池、河川等の公共用水域の水環境問題に従事。2009年頃からコロナ前までは、ベトナム、カンボジアなどにおけるグリーン成長のための総合計画(廃棄物、エネルギー、交通、上下水道・雨水排水、環境保全分野など)の策定や低炭素都市づくりのガイドラインの策定、プロジェクト形成などに取組む。技術士。

ルーム 9 [インフラ]

まちづくりと一体で実現した 東海道線支線地下化・新駅設置事業 12:45

～新たな都心貫通ネットワークの整備と 大阪駅のゲート機能強化～

JR西日本 地域まちづくり本部 交通(都市圏) 担当課長 河端 邦彦
2001年にJR西日本に入社。おおさか東線や富山駅付近連続立体交差事業などの建設工事に従事。東海道線支線地下化・新駅設置事業は計画当初において鉄道施設改良計画立案に従事。また2021年からうめきた工事所長として2023年2月の30時間に渡る地下化切換工事を指揮。2024年6月より現職。国土交通省都市局への出向経験もあり、鉄道とまちづくりに関する業務を幅広く経験している。

うめきたの舞台裏 13:30

～新たな建設マネジメントへの挑戦～

UR都市機構 西日本支社技術監理部 担当課長 中田 俊也
1999年に早稲田大学理工学部土木工学科を卒業し、住宅・都市整備公団(現UR)に入社。2001年から2004年にかけて国際コンセプトコンペ実施など、うめきた先行開発区域の事業組成に携わる。2017年からうめきた2期区域の工事・事業間調整や設計・工事推進を担当。うめきた3D都市モデルの整備・活用などまちづくりDXにも取組み中。

UR都市機構 西日本支社都市再生業務部 umeきた都市再生事務所事業調整課 主幹 林 孝光
2005年に大阪市立大学工学部土木工学科を卒業し、建設会社勤務を経てUR都市機構に入社。大手町、浪谷など都心部での都市再生事業における基盤調整業務に携わる。うめきた2期区域では2016年から2018年の3年間と2022年から現在までの合計5年半の期間、工事・事業間調整を担当。

うめきたの「みどり」が つなぐ 風とまち 14:15

～グリーンインフラによる快適な環境づくり～

日本工営 大阪支店 基盤技術部 チーフスペシャリスト 伊藤 一之
1991年東京農工大学大学院修了(農学専攻)、日本工営株式会社入社。開発途上国における都市・農村地域計画に従事後、94年より国内部門に異動、緑化・リサイクル関連のコンサルティング業務に携わる。都市地域における景観・防災機能等の向上に配慮した公園・緑地整備や、既存緑地の更新管理・再生整備に関する調査・計画・設計業務等を担当。技術士(建設部門)都市及び地方計画、建設環境 農業部門(農村環境)

Panel パネルディスカッション Discussion

メイン会場 [ホールA・B]

15:00-16:30

共創時代のまちづくり

うめきた2期からの発信

パネラー



大阪市 副市長
高橋 徹

京都大学大学院工学研究科修士課程を修了し、1985年4月、大阪府に奉職。長年、大阪市の都市計画に携わり、2012年4月に計画調整局計画部長兼うめきた整備担当部長、2018年4月に都市計画局長に就任。2019年6月より副市長を務める。



JR西日本 代表取締役副社長兼執行役員
地域まちづくり本部長
春名 幸一

京都大学大学院工学研究科修士課程を修了し、1989年西日本旅客鉄道株式会社入社。京都駅ビル、大阪駅改良、三ノ宮駅ビル建替えなど大規模ターミナル開発や鉄道整備プロジェクトに従事。地域まちづくり本部副本部長を経て、2024年6月より現職。



大阪府立大学 名誉教授
増田 昇

1988年農学博士の学位取得後、1997年に大阪府立大学農学部の教授になり、2015年から同大学の生命環境科学研究科の研究科長と植物工場研究センター長を兼務する。2017年3月に定年退官し、2021年4月以降、LAまちづくり研究所を主宰している。専門はランドスケープ・アーキテクチャー（緑地計画学）で、日本造園学会会長や日本都市計画学会副会長等を歴任し、大阪府や大阪市、堺市等の都市計画や景観審議会委員を務めていた。

モデレーター

立命館大学 理工学部 教授
岡井 有佳



京都市生まれ。パリX大学DESS修了。東京大学博士（工学）。専門分野は、都市計画、都市政策。建設省（現、国土交通省）、OECD、パリI大学CRIAなどを経て、2018年4月から現職。大阪府都市計画審議会、大阪市景観審議会、大阪城東部地区まちづくり検討会などの委員を務める。

三菱地所 執行役常務
大野 郁夫



1992年5月三菱地所株式会社入社。入社以来一貫して、丸の内をはじめとする様々なエリアでの都市開発事業に従事。また、直近は新規事業開発、DX推進を担当。2023年4月より関西支店着任。グラングリーン大阪他開発案件の推進を指揮し、現在に至る。

大阪大学 総長
西尾 章治郎



1975年京都大学工学部卒業。1980年京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了（工学博士）。専門分野はデータ工学。1992年大阪大学工学部教授、同大学サイバーメディアセンター長（初代）、同大学院情報科学研究科長、同理事・副学長などを歴任し、2015年8月より現職。2019年5月よりUR都市機構西日本支社うめきた2期区域開発協議会アドバイザーを務める。2011年紫綬褒章、2014年文部科学大臣賞、2016年文化功労者など受賞。

UR都市機構
理事・西日本支社長
高原 功



1988年に、日本大学大学院建築工学科を修了し、住宅・都市整備公団（現UR）入社。大都市・地方都市の都市再生や団地再生から賃貸住宅経営、震災復興支援まで幅広く地域のまちづくりに携わる。2024年7月から現職。

入場
無料

基調講演／シンポジウム／パネルディスカッションの

参加お申し込みは下記URLから

<https://www.ur-net.go.jp/symposium/>



うめきた
Instagram

各プログラムとも定員に達し次第
締め切らせていただきます。

- 登壇者、講演テーマは変更になる場合があります。
- 周辺道路の混雑緩和のため、公共交通機関をご利用ください。



シンポジウム
HP



独立行政法人 都市再生機構
西日本支社 都市再生業務部
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-13-1
大阪梅田ツインタワーズ・サウス21F

都市計画
CPD